

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.100
特別号
2024.4



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

日頃より、歯舞地区マリンビジョン協議会に対し多大なるご理解・ご協力、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

当マリンビジョン協議会は平成18年の発足当時から、地域の活性化を図るべく「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、水産物のブランド化(一部会一品運動)、地元催事の開催、水産教室、北方領土県民会議や旅行会社のツアー受入れ、漁民泊の受入れ等を実施してきました。また、これらの取り組みをSNS等で積極的に紹介したり、全国各地で講演会を開催するなどして、広く情報発信を続けてきました。

昨年度は、令和4年に完成した漁協新施設・人工地盤施設を活用して多くの見学や体験学習を受け入れ、コロナ禍で実施を見合わせていた渚泊も再開しました。活気あふれる漁村地域を目指し、これからも積極的に活動を続けていきたいと思っております。

昨年後半の当協議会の活動を以下に一部ご紹介いたしますので、是非ご一読ください。

「歯舞こんぶ祭り」 4年ぶりに開催！

9月24日(日)10時より、歯舞漁協中央市場内・屋根付岸壁にて「第14回歯舞こんぶ祭り」が4年ぶりに開催されました。

わんこそば早食い大会のイベントや、地元歯舞学園の生徒らによるよさこいソーラン、歯舞の美味しい海産物を各ブースにて販売したほか、ものまね歌手の「こんちはる」さんや、地元ダンスグループの「Our Beat」さんのダンスショーなど、催し物が盛りだくさんの一日でした。

このお祭りのために遠くから足を運んで来ていただいたお客さんには、本当に感謝しております。

また次回も是非お越しください！



会場を彩るたくさんの大漁旗



天候にも恵まれ、遊覧船観光も満員御礼



恒例のわんこ昆布そば大会



小倉組組合長より開会のご挨拶



昆布漁体験コーナーでは、たくさんのお子様達が楽しそうに昆布漁を体験していました



抽選会場では長蛇の列！



「Our Beat」によるダンスの披露



地元の学校である歯舞学園からは、学生達のよさこいソーランも披露されました



締めくくりは、縁起よく餅まきを行い、今回のお祭りは終了となりました！

多くの方々にご来場いただき、スタッフ一同大変感謝しております。今年もまた、盛大に盛り上がるお祭りをしていきたいと思っておりますので、またのご来場をお待ちしております！

あさり潮干狩り 4年ぶりの開催！



潮干狩りを楽しむ
家族連れ



8月4日(金)、8月18日(金)にあさり潮干狩りの一般開放が行われました。来場者数はこの2日でなんと179名!お天気も良く、お子様連れの来場者が数多く見受けられ、また、根室市外からも多数参加されておりました。バケツからこぼれ落ちそうになるくらいに掘ったあさを笑顔で運ぶ親子がおり、大変微笑ましい光景でした。

参加者が掘り終えたあさは、組合職員が丁寧に洗った後に袋に入れられて参加者に渡されました。参加者は、袋いっぱいのおあさを嬉しそうに持ち帰って行きました。

あさり潮干狩りでは、普段経験出来ない体験をして頂いたことと思いますが、これをきっかけとして歯舞についてもっと興味を持っていただけたらと思います。

根室高校の1年生が来所

10月24日(火)、25日(水)、26(木)、31日(火)の4日間に渡り、2年連続で北海道根室高等学校の1年生が「総合的な探求の時間:地域巡検」としての学習で当組合を訪れました。

その生徒の数なんと190名!!(※引率等含む)これまでに受入れをしてきた中でもかなり多い生徒の皆さんにお越しいただきました。

今回は、市場のセリ見学・開発店舗の見学のほか、歯舞産の貝殻棹前昆布や地元ブランド商品である歯舞こんぶしょうゆについて説明し、最後に昼食の提供もしました。

楽しく学び、美味しいごはんも満喫していただけたのであれば、我々も受入れた甲斐がありました!

これをきっかけに少しでも歯舞と水産業に興味を持っていただけたらと思います。



市場に揚がった魚について説明を受ける生徒達



歯舞産の貝殻棹前昆布や、地元ブランドである歯舞こんぶしょうゆについて説明を受ける生徒達

北方領土返還要求運動（島根県団）受け入れ

8月8日（火）、島根県より北方領土返還要求運動へ参加している学生ら25名の受け入れをしました。

今回の受け入れでは、市場事務所から始まり、セリの見学や水揚げされている鮮魚の見学をした後、新事務所へ場所を移動し、衛生管理型市場へ入場してもらい、徹底された衛生管理の状況に驚いていました。

海業支援施設では、歯舞地域で採れた昆布について学んでもらい、荷造り結束された昆布がどれだけ重いのか、実際に持ってもらいました。

最後は、中村常務理事より、貝殻島昆布協定に係る高碓達之助先生が執り行った日露間の安全操業について、講演をしていただきました。

今回の見学で北方領土の歴史や問題、歯舞地域の歴史について、沢山学ぶことができたかと思えます。また是非お越しください。



中村常務理事より、貝殻島昆布安全操業における高碓達之助先生の講話を生徒が聞き入る様子



市場にて見学をしている様子



海業支援施設にて、貝殻産棹前昆布について説明を受ける生徒達

北方領土返還要求運動（鹿児島県団）受け入れ

8月18日（金）、鹿児島県より北方領土返還要求運動へ参加している学生ら25名の受け入れをしました。

今回の受け入れは、朝食の提供から始まりました。地元では剥いたことがないのか、煮エビの殻剥きに生徒の皆さんは苦戦しておりました。そのほか、根室地域特産の花咲がにのてっぽう汁も食べていただき、美味しさのあまやか、おかわりをする生徒が大勢いました。

海業支援施設では、歯舞地域で採れた昆布について学んでもらい、恒例の駄昆布の重量当てクイズも行いました。このクイズは未だに正解者が現れていない難問であります！

この他、滝本総務部長より、港に停泊している船の特徴と、荷揚げされる魚の紹介をしました。

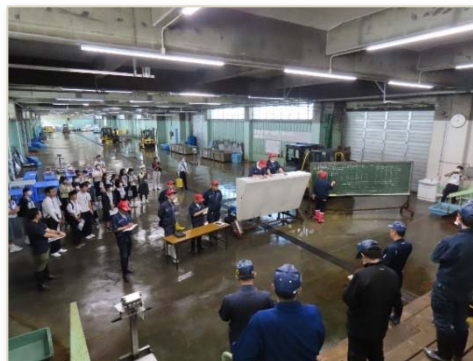
今回も歯舞地域の歴史や食について、沢山学ぶことができたかと思えます。また是非お越しください。



朝食提供の様子



海業支援施設にて駄昆布の重量当てクイズを開催



セリの見学



船の特徴についての説明を受けている様子

根室産業フェスティバル

9月10日(日)10時から14時まで、根室市にある道立北方四島交流センターニ・ホ・ロにて「第36回根室産業フェスティバル」が開催され、歯舞組合が参加しました。

これは、根室市特産品の新鮮な魚介類や農畜産品・加工品など地場産品を一同に集めて紹介、販売するイベントです。

当組合も地元特産品である歯舞こんぶしょうゆ等の液体調味料類の他、AIR DO で提供しているホタテのスープなど、多数の商品を販売しました。

ご来場、ご購入いただいた皆様、ありがとうございます。



↑ 会場の様子

← 販売コーナー

北海道教育大学釧路校の生徒を受け入れ

9月11日(月)歯舞組合にて、北海道教育大学釧路校3名の生徒(他引率4名)を受け入れしました。

以前から歯舞地域のマリンビジョン活動に興味を持っていただいている生徒や、2回目の見学となる生徒もいました。

今回の見学では天候に恵まれ、昆布漁も出漁したことから、施設見学だけでなく実際に浜に赴き、昆布干しの体験も行いました。

今回の体験で得た経験を活かし、今後も学生の皆さんの学びの一環として受け入れすることが出来たらと思います。



組合応接室にて歯舞地域の漁業やマリンビジョン活動の取り組みについて説明



荷揚げ風景の現場を見学



採れたての昆布を干場と言われる昆布を干す場所で、実際に手に取って、干す作業のお手伝いもしました。天候によって干し方が変わってくるので、簡単なようで難しい作業です。



昆布を選別する小屋の中の見学もしました。乾燥させ、規格(105cm)に切った昆布を一本ずつ選葉する作業があり、決まった規格・等級ごとに昆布を選びます。最初から最後まで昆布漁は気が抜けません。



昆布倉庫では、厳しい検査に合格した昆布を見学しました。



衛生管理型市場では、採れたて新鮮なブリがたくさん揚がっていました。



組合施設内の食堂で昼食。今回は歯舞で荷揚げした獲れたてのブリを食べていただきました。皆さん美味しかったと大満足の様子でした。

歯舞学園 調理実習を実施

10月10日(火)~12日(木)、歯舞学園の調理実習に、当組合から秋鮭と秋刀魚を提供させていただきました。この調理実習は、地域の根幹産業である水産業への理解を深めるため、10年以上前から行っている伝統行事です。生徒たちは魚をおろす作業からの実習となりました。



6 学年生徒 16 名「鮭とば作り」



8 学年生徒 17 名「鮭フレーク作り」



9 学年生徒 13 名「さんまのアレンジ料理」

まるごと根室直送市が開催される

ねむろ水産物普及推進協議会が主催する「まるごと根室直送市」が10月27日(金)~29日(日)の3日間、北海道庁赤レンガ庁舎前庭で開催されました。

今年で14回目の開催となった本事業は、「根室産水産物」の認知度向上及び消費拡大を図る事を目的に、水産加工品を中心とした根室特産品の販売を通じて、札幌市民や観光客に広くPRするとともに、市内事業者が直接対面販売を行う事で、時宜に応じた消費者ニーズを的確に捉え、更なる販路拡大の為実施されている事業です。

今年は、さんまの炭火焼等の飲食物の提供は会場の改修工事の都合上行わず、物品販売のみの実施となりました。

当組合では「昆布しょうゆ」を始めとした調味料製品や、昆布製品、一本立ち歯舞さんま缶詰、昆布しょうゆを使用した他社製品等の販売をしました。

開催当日、販売開始前には入場ゲートにたくさんのお客さんの行列ができて、来場者は三日間合計で約八千人(前年約六千人)、全体の売上は本事業初の一千万円を超え過去最高の記録となりました。

また、販売に併せ札幌市民や観光客に対し、貴重な動物・自然などを間近に感じることができる歯舞遊覧船観光PR(本土最東端パノラマクルーズ)も実施しました。

三日間を通して、予想を超える多くの札幌市民や観光客が会場を訪れ、根室産水産加工品、花咲がになどの水産物や、銘酒「北の勝」など買い求めるなど終始賑わいを見せました。

昨年からのリピーター客も多数おり、昆布しょうゆなどを中心に、歯舞ブランド商品の認知度の高さを実感しました。また、対面販売したことで直接消費者に商品と「歯舞ブランド」を直に伝えることができました。

今後も継続的にこの事業に参加し、更なる「歯舞ブランド」の認知度の向上を図りたいと思います。



長い行列ができました



丁寧に商品の説明をしています



はぼまい昆布しょうゆ 他

秋の一斉清掃

11月9日(木)歯舞漁港において、歯舞漁港利用者による「秋の一斉清掃」が行われました。一斉清掃は、歯舞漁港の景観の維持・管理を目的に、年2回(春・秋)実施しています。

歯舞漁港愛護会を中心に、漁港利用者、女性部中央支部、組合職員等が参加し、約1時間の作業で沢山のゴミを拾い集めました。

集められたゴミの中には、時化等で打上げられたゴミもありましたが、一部マナー違反者によって投げ捨てられた大量の空き缶や



ペットボトル等のゴミが例年目立ちます。

こういった清掃作業については、2015年に国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の一つでもあり、港を綺麗にするというのはもちろんの事、ごみを海へ出さない等環境保全としての活動の一環となるため、とても重要な活動となります。今後とも一人ひとりが環境保全に強く意識を持ち、「きれいな港づくり」を心掛けていきましょう。



今年も歯舞学園の生徒達が施設見学

11月13日(月)、歯舞学園4学年16名を対象とした水産学習として、歯舞漁協の施設見学を実施しました。今年も市場施設からの見学をしました。今回は生き生きとした活だこを見てもらい、世界一大きなタコ(ミズダコ)を見た生徒の皆さんはとても楽しそうでした。

次に向かった先は製氷工場です。いざ工場内に入ると沢山の氷が積んであり、生徒の皆さんは大きな氷の迫力と寒さに驚愕し、「寒い!」と楽しそうに叫ぶ声が工場中に響き渡っていました。



4階防災施設で災害時の設備の説明を聞く様子



海業支援施設にて昆布の説明を聞く様子

ほかにも、海業支援施設で昆布の説明をしたり、4階の防災施設で災害時における設備について説明をしました。

今後とも水産学習については、未来の漁協職員・水産関係者になるためのきっかけになってくれると、とても嬉しいです!

北方領土返還要求宮崎県民会議の受入れを行いました!

12月26日(火)、宮崎県より青少年ら25名(引率含む)の受入れを行いました。

今回の見学では、歯舞で水揚げされる鮮魚について説明し、朝食の提供も行いました。歯舞の朝日を浴びながらご飯を食べるのはきっと、学生達にとってとても良い思い出と経験作りになったかと思います。



朝食の様子



市場見学の様子

★当組合新施設のPR動画と、フェイスブックも是非チェックしてみてください。QRコードをスマートフォンで読み取りご覧ください。

根室地域(歯舞地区) マリンビジョン協議会

歯舞漁業協同組合では、フェイスブックを活用したPR活動も行っております。まだご覧になった事のない方はぜひ下記QRコードをチェック!

■編集・発行・お問い合わせ■

- ・編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会
- ・お問 合せ 歯舞漁業協同組合 総務部
- ・電 話 0153-28-2121 FAX: 0153-28-2320

左記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。

歯舞漁業協同組合 新施設PR用動画



右記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局
 ■お問い合わせ 事務局 担 当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
 電 話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

